

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月14日

【四半期会計期間】 第69期第3四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

【会社名】 株式会社オーネックス

【英訳名】 ONEX Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大屋 和雄

【本店の所在の場所】 東京都町田市森野一丁目7番23号

【電話番号】 046(285)3664

【事務連絡者氏名】 経理部長 田島 圭子

【最寄りの連絡場所】 東京都町田市森野一丁目7番23号

【電話番号】 046(285)3664

【事務連絡者氏名】 経理部長 田島 圭子

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第68期 第3四半期連結 累計期間	第69期 第3四半期連結 累計期間	第68期
会計期間		自 2018年7月1日 至 2019年3月31日	自 2019年7月1日 至 2020年3月31日	自 2018年7月1日 至 2019年6月30日
売上高	(千円)	4,776,443	4,257,362	6,252,991
経常利益	(千円)	250,140	92,598	261,415
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	157,597	65,675	161,516
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	117,172	31,627	111,553
純資産額	(千円)	5,570,136	5,563,024	5,564,518
総資産額	(千円)	10,518,075	10,378,216	10,267,144
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	95.17	39.66	97.53
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	53.0	53.6	54.2

回次		第68期 第3四半期連結 会計期間	第69期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	24.66	12.89

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業等への影響については、未確定要素が多く依然として先行きは不透明であることから今後の推移を注視してまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中摩擦の影響や消費税増税に伴う景気の下振れにより、企業収益は減少傾向で推移し、製造業を中心に弱含みが続きました。さらに新型コロナウイルス感染症の流行により、国内消費活動の冷え込み、インバウンド需要の減少、中国向けを始めとする輸出の減少など依然として先行きは不透明な状況が続きました。

このような経済状況の下で当社グループは、既存取引の見直し、受注活動の強化、生産性向上等に努めました。

主力取引業界である産業工作機械関連、自動車部品関連等全般に受注が減少したため、売上高は前年同四半期連結累計期間と比較して減少しました。経費面では、外注加工費や人件費等の削減を行い利益確保に努めましたが、売上高の落ち込みによる減益分をカバーするまでには至らず、営業利益は前年同四半期連結累計期間と比較して減益となりました。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,257百万円(前年同四半期比 10.9%減)、営業利益は91百万円(前年同四半期比 62.7%減)、経常利益は92百万円(前年同四半期比 63.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は65百万円(前年同四半期比 58.3%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

金属熱処理加工事業

金属熱処理業界につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、主力取引業界である、産業工作機械関連、自動車部品関連からの受注が低調に推移したため、売上高も前年同四半期連結累計期間と比較して減少しました。また、経費面では、外注加工費や人件費等の削減を行い利益確保に努めましたが、売上高の落ち込みによる減益分をカバーするまでには至らず、セグメント利益は減少しました。

これらの結果、売上高は3,726百万円(前年同四半期比 12.1%減)、セグメント利益は44百万円(前年同四半期比 75.6%減)となりました。

運送事業

運送事業につきましては、収益向上のための取引見直しを実施したものの新型コロナウイルス感染症の影響による受注減により、売上高はやや減少しました。また、車両運搬具の代替に伴う減価償却費及び人件費等の増加により、セグメント利益は減少しました。

これらの結果、売上高は531百万円(前年同四半期比 1.4%減)、セグメント利益は21百万円(前年同四半期比 58.2%減)となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して111百万円増加し、10,378百万円となりました。これは主に現金及び預金が461百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が110百万円、電子記録債権が115百万円、建物及び構築物が57百万円、機械装置及び運搬具が62百万円、投資有価証券が43百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して112百万円増加し、4,815百万円となりました。これは主に長期借入金が126百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して1百万円減少し、5,563百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が34百万円減少したものの、利益剰余金が32百万円増加したことによるものです。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は22百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	5,868,600
計	5,868,600

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年5月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,660,000	1,660,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	1,660,000	1,660,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日		1,660,000		878,363		713,431

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,650,300	16,503	
単元未満株式	普通株式 5,800		
発行済株式総数	1,660,000		
総株主の議決権		16,503	

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) (株)オーネックス	東京都町田市森野1-7-23	3,900	-	3,900	0.24
計		3,900	-	3,900	0.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年7月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,973,051	2,434,897
受取手形及び売掛金	1,347,847	1,236,977
電子記録債権	640,128	524,729
製品	20,705	25,123
仕掛品	38,847	33,667
原材料及び貯蔵品	98,020	98,180
その他	136,251	112,540
流動資産合計	4,254,851	4,466,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,229,903	1,172,458
機械装置及び運搬具(純額)	1,527,924	1,465,264
土地	2,275,851	2,275,851
リース資産(純額)	124,134	135,288
建設仮勘定	699	20,565
その他(純額)	201,907	214,485
有形固定資産合計	5,360,420	5,283,913
無形固定資産		
63,181		54,589
投資その他の資産		
投資有価証券	241,899	198,200
繰延税金資産	223,379	249,174
その他	121,372	125,673
貸倒引当金	132	473
投資その他の資産合計	586,519	572,575
固定資産合計	6,010,121	5,911,078
繰延資産	2,171	1,021
資産合計	10,267,144	10,378,216

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	145,401	152,458
電子記録債務	166,849	154,627
短期借入金	717,693	759,573
1年内償還予定の社債	15,000	7,500
未払金	270,771	218,904
未払費用	276,699	253,998
未払法人税等	21,302	10,613
賞与引当金	21,146	73,723
その他	234,697	217,566
流動負債合計	1,869,562	1,848,964
固定負債		
社債	17,500	10,000
長期借入金	1,929,039	2,055,496
退職給付に係る負債	729,549	731,074
その他	156,974	169,656
固定負債合計	2,833,063	2,966,227
負債合計	4,702,626	4,815,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,957,728	3,990,283
自己株式	6,019	6,019
株主資本合計	5,543,503	5,576,058
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	21,014	13,033
その他の包括利益累計額合計	21,014	13,033
純資産合計	5,564,518	5,563,024
負債純資産合計	10,267,144	10,378,216

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	4,776,443	4,257,362
売上原価	3,625,775	3,329,010
売上総利益	1,150,667	928,351
販売費及び一般管理費	903,815	836,399
営業利益	246,852	91,952
営業外収益		
受取利息	1,742	1,710
受取配当金	3,851	3,504
受取賃貸料	5,038	5,358
スクラップ収入	4,773	3,466
その他	8,179	6,410
営業外収益合計	23,584	20,450
営業外費用		
支払利息	13,974	13,970
支払手数料	4,441	4,215
その他	1,881	1,619
営業外費用合計	20,296	19,804
経常利益	250,140	92,598
特別利益		
固定資産売却益	288	8,253
投資有価証券売却益	53	-
保険差益	-	124
特別利益合計	342	8,377
特別損失		
固定資産除却損	3,959	7,393
特別損失合計	3,959	7,393
税金等調整前四半期純利益	246,523	93,581
法人税、住民税及び事業税	112,742	41,464
法人税等調整額	23,816	13,558
法人税等合計	88,926	27,905
四半期純利益	157,597	65,675
親会社株主に帰属する四半期純利益	157,597	65,675

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	157,597	65,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,425	34,048
その他の包括利益合計	40,425	34,048
四半期包括利益	117,172	31,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,172	31,627
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、前連結会計年度末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。前連結会計年度末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
受取手形	88,505千円	- 千円
支払手形	8,898	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	428,748千円	437,989千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年9月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	33,120	20	2018年6月30日	2018年9月27日

当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年9月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	33,120	20	2019年6月30日	2019年9月27日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,237,889	538,554	4,776,443	-	4,776,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	241,381	241,381	241,381	-
計	4,237,889	779,935	5,017,825	241,381	4,776,443
セグメント利益	184,240	51,857	236,097	10,755	246,852

(注) 1. セグメント利益の調整額10,755千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,726,150	531,211	4,257,362	-	4,257,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	230,053	230,053	230,053	-
計	3,726,150	761,264	4,487,415	230,053	4,257,362
セグメント利益	44,982	21,665	66,647	25,305	91,952

(注) 1. セグメント利益の調整額25,305千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	95円17銭	39円66銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	157,597	65,675
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	157,597	65,675
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,656	1,656

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月14日

株式会社オーネックス
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 入江 秀雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 達也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーネックスの2019年7月1日から2020年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年7月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーネックス及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。